

2022年8月8日

各位

会社名 倉庫精練株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽田 学
コード 3578 東証スタンダード
問合せ先 総務課長 上田 紀昭
電話番号 076-249-3131

中期経営計画における計画値の見直しに関するお知らせ

2020年11月12日に公表いたしました、「新中期経営計画「REBORN2023」の策定に関するお知らせ」において、2022年3月期を初年度とする3カ年計画の中期経営計画に関し、計画値の見直しを行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 計画値の見直しについて

直近の業績及び新型コロナウイルスの新たな変異株の発生や、円安の進行、原燃料・原材料価格の高騰等の影響等を受けたことをふまえ、以下の通り、2023年3月期及び2024年3月期の計画値を見直しております。

【修正後計画値】

(単位：百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)	2024年3月期 (計画)
売上高	2,277	2,350	2,400
営業利益	△408	△200	△137
EBITDA (償却前営業利益)	△227	△28	53

【修正前計画値】

(単位：百万円)

	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (計画)	2024年3月期 (計画)
売上高	2,400	2,900	3,100
営業利益	△100	20	120
EBITDA (償却前営業利益)	70	220	320

2. 見直しの理由

(2023年3月期)

売上高につきましては、既存繊維事業において、新型コロナウイルスの感染症拡大等による行動様式の変化で、ファッション用途が多い化繊分野や、不採算商品の撤退を実施することと、機械製造販売部門の売上高減少及び新規資材分野（非衣料分野）の安定生産に向けた調整に時間を要したため、合わせて550百万円の減少を見込んでおります。

営業利益につきましては、原燃料・原材料価格が世界的に高騰し、燃料単価は計画時当初の想定を大きく上回る水準となっており（燃料（LPG）ですと、計画時51円/kgを130円/kgに見直しました）、受注価格の改訂に取り組むものの、全ての商品に対して反映できず、計画値を下回る見込みとなりました。

(2024年3月期)

売上高につきましては、既存繊維事業における不採算商品の撤退を実施したことと、機械製造販売部門の売上高減少及び新規資材分野（非衣料分野）の生産量の見込みの見直しにより、合わせて700百万円の減少を見込んでおります。

営業利益につきましては、原燃料・原材料価格高騰による受注価格への転嫁は一部見込んでいるものの、売上高の減少による影響が大きく、計画値を下回ると見込んでおります。

以 上